

令和5年度 地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業 札幌市の事例（2018年度～）

<取組の内容>

【実施体制の整備】

- 市内で学習支援等の様々な支援に携わる民間団体との協力により、民間団体の持つ学習支援のノウハウや人材を活用した学習支援を実施する体制を整備。

【学習相談・学習支援の実施】

- 15歳から39歳までの若者向けの総合窓口を設置している「札幌市若者支援総合センター」を中心として民間団体と連携し、学習支援・学習相談を実施。
- 交通費負担の軽減等、利用者の状況や希望に応じ、より身近な公共施設等を会場とした実施、インターネット・SNS等の通信を利用した学習支援を実施。
- 高卒認定試験の直前には、集中取組期間を設け学習支援回数を増やすことで、合格率の向上を図る。

【広報の取組】

- 市内中学校・高等学校への訪問のほか、「さっぽろ子ども・若者支援地域協議会」の構成機関へも周知を行い、幅広いニーズの捕捉を実施。

<取組の成果>

- のべ50名以上が事業を利用し、実利用者の約6割が高卒認定試験、高等学校に合格、就職を果たした。

<今後の取組>

- 中退により支援が途切れた若者を再度支援に繋げていくことに課題があるため、そのような若者に対し、中退や支援の途切れを防ぐ下支えとしての事業となる仕組みを促進する。
- 不登校・低学力などの困難を抱えた若者に対しても、関係機関との連携により周知し、利用の促進を目指す。